

大学院教育学研究科

所属・職位	大学院教育学研究科（教職大学院）・准教授	
氏名	後藤 竜太(Gotou Ryuta)	
取得学位	学士（教育学），長崎大学，1998年3月	
SDGs目標		

研究分野 生徒指導，学級経営

研究キーワード 生徒指導，学級経営，教育課程，カリキュラム・マネジメント

研究内容 学校現場や教育行政での勤務等を経験した実務家教員です。児童生徒を中心に据え、彼らがもつ力を引き出すための学習指導と一体となった生徒指導・学級経営の在り方について研究を進めたいと考えています。

- 児童生徒理解及び学習指導と一体的に進める生徒指導・学級経営
大分県教育センターでは、基本研修担当として、初任者研修，ステップアップ研修，フォローアップ研修，中堅教諭等資質向上研修等を担当してきました。生徒指導・学級経営に関する講義では、具体的な事例を取り上げながら，児童生徒理解及び学習指導と一体的に進める生徒指導・学級経営の重要性について考えてきました。
- 学校全体で組織的に取り組むカリキュラム・マネジメントの推進
大分県教育庁義務教育課では，学校全体で組織的に取り組むカリキュラム・マネジメントを推進するため，「社会に開かれた教育課程の実現に向けた協議会」を実施（平成29年～令和元年）したり，カリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究（令和元年～令和2年）等に携わったりしてきました。
- 「芯の通った学校組織づくり」の推進
大分県教育庁佐伯教育事務所では，学校改革担当指導主事として，「芯の通った学校組織づくり」を推進してきました。その中で，各学校における生徒指導・学級経営等に関する取組の工夫等をまとめ，ウェブサイト等を通じて周知してきました。

研究業績・アピールポイント

- 論文
1. 2019年 「総合的な学習の時間を核としたカリキュラム・マネジメント—全ての教職員で取り組むための方策—」日本生活科・総合的学習教育学会学会誌「せいかつか&そうごう」第26号（pp. 16～27）
- 実践論文
1. 2015年 「整理・分析段階の指導方法の工夫による思考力・判断力・表現力等の育成～「付けたい力」の明確化と思考ツールの効果的な活用を通して～」日本生活科・総合的学習教育学会 生活科・総合の実践ブックレット第9号（pp. 100～113）
2. 2022年 「中学校の総合的な学習の時間の一層の充実を目指した教育行政の取組」日本生活科・総合的学習教育学会 生活科・総合の実践ブックレット第16号（pp. 120～133）
- 文部科学省，国立教育政策研究所の指導資料関係
1. 2020年「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（小学校総合的な学習の時間編）第3編事例3 国立教育政策研究所（pp. 63～71）
2. 2021年「今求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（小学校編）」第4章事例②③ 文部科学省（pp. 102～105）
3. 2022年「今求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）」第4章事例② 文部科学省（pp. 110～111）